

「第3期砂川市子ども・子育て支援事業計画」 策定のためのアンケート調査 結果報告書(概要版)

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「第3期砂川市子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する、保護者の方の意見・要望を把握し、砂川市の新しい子育て支援策を検討するため、調査を実施しました。

(2) 調査の対象と実施方法

- 調査対象：砂川市在住の就学前児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年2月26日～令和6年3月18日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
390 票	259 票		66.4%
	紙	WEB	
	73 票	186 票	

- 調査対象：砂川市在住の就学児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年2月26日～令和6年3月18日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
424 票	286 票		67.5%
	紙	WEB	
	75 票	211 票	

(3) 調査報告書の見方

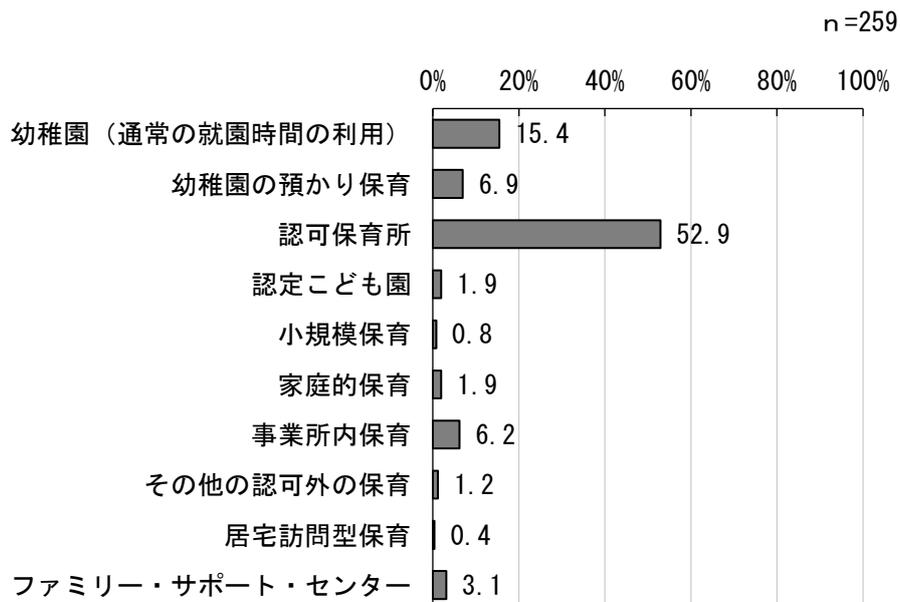
百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出しています。本文及び図中の数字に関しては、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。

2 調査の結果概要（就学前児童）

（1）「定期的な」教育・保育の利用状況について

○「定期的な」教育・保育施設等の利用状況

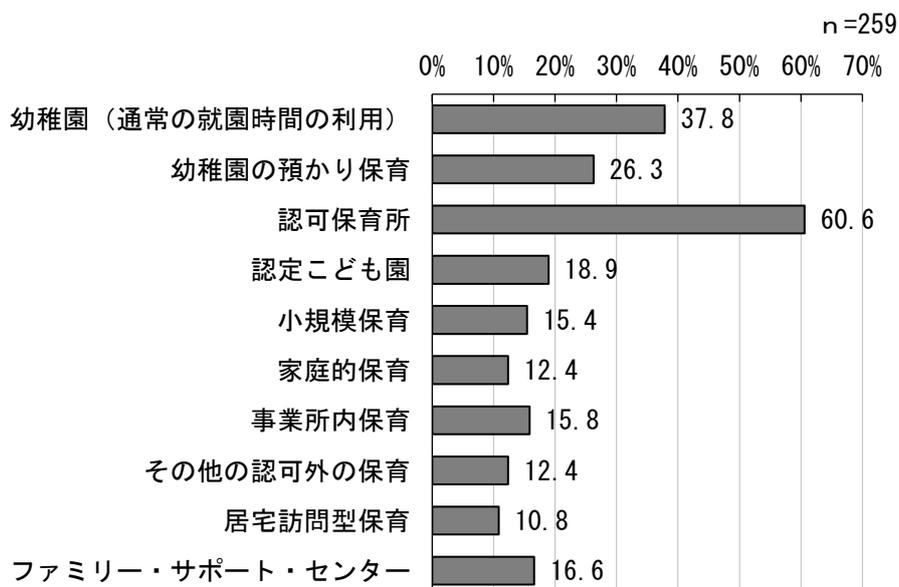
現在「定期的に」利用している施設等は、「認可保育所」が 52.9%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 15.4%、「幼稚園の預かり保育」が 6.9%、「事業所内保育」が 6.2%となっています。



○今後定期的に利用したい教育・保育施設

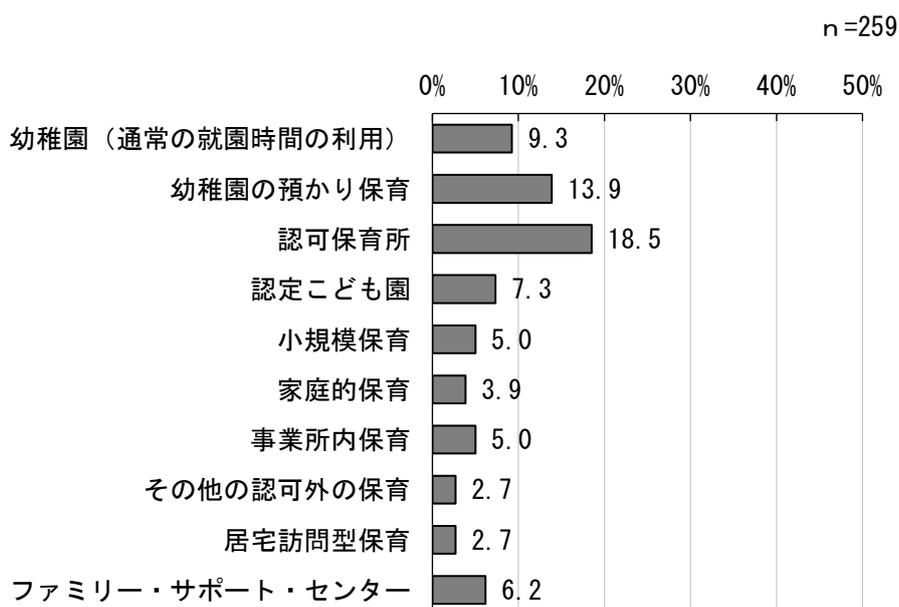
【今後の利用希望（平日）】

今後平日の利用を希望する施設等は、「認可保育所」が60.6%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が37.8%、「幼稚園の預かり保育」が26.3%となっています。



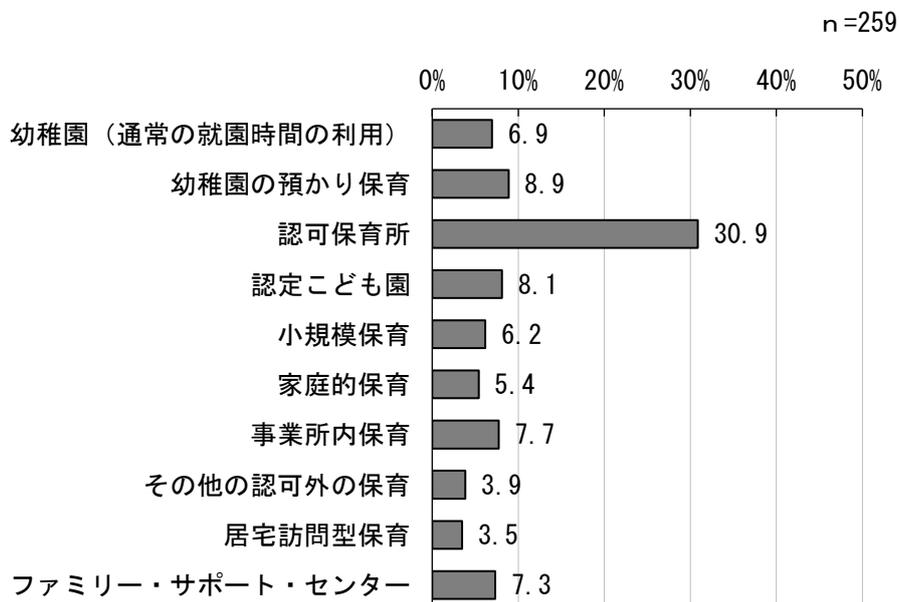
【今後の利用希望（お子さんの長期休暇期間中）】

今後お子さんの長期休暇期間中の利用を希望する施設等は、「認可保育所」が18.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が13.9%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が9.3%となっています。



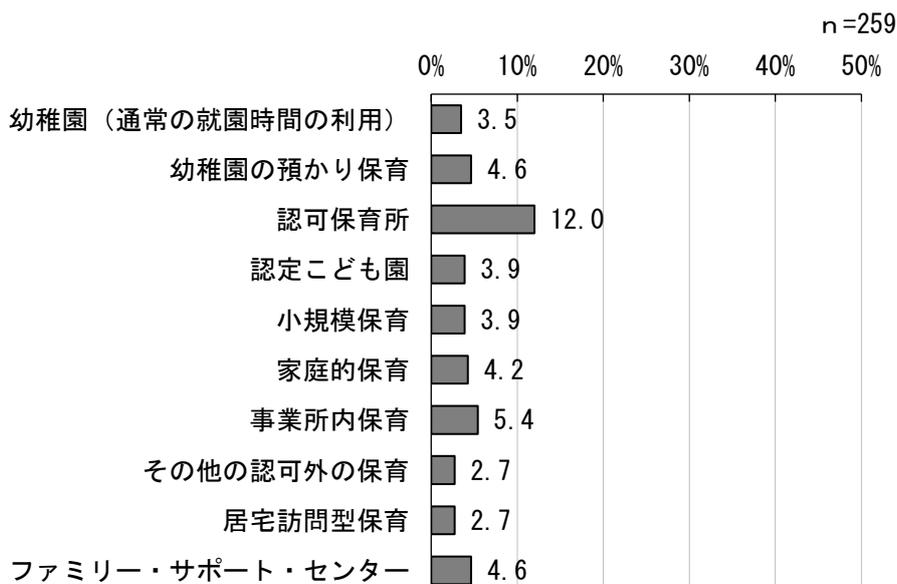
【今後の利用希望（土曜日）】

今後土曜日の利用を希望する施設等は、「認可保育所」が30.9%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が8.9%、「認定こども園」が8.1%となっています。



【今後の利用希望（日曜・祝日）】

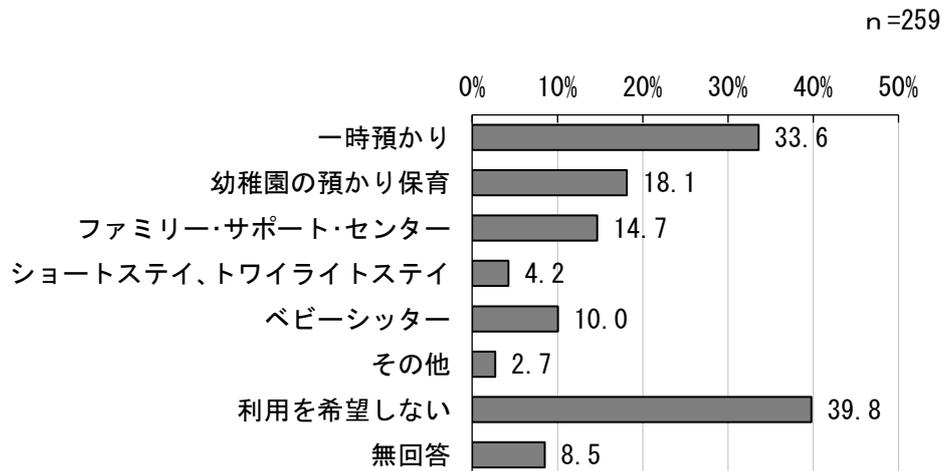
今後日曜・祝日の利用を希望する施設等は、「認可保育所」が12.0%と最も高く、次いで「事業所内保育」が5.4%、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリー・サポート・センター」がそれぞれ4.6%となっています。



(2) 「不定期な」教育・保育の利用状況について

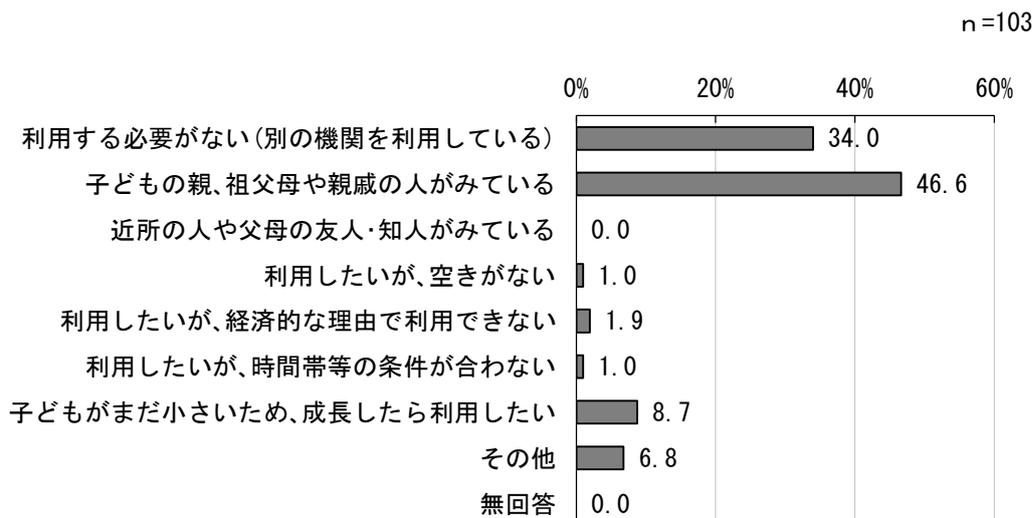
○「不定期に」利用したい一時預かり事業の有無

「不定期に」利用、または利用したい一時預かり事業の有無は、「利用を希望しない」が39.8%と最も高く、次いで「一時預かり」が33.6%、「幼稚園の預かり保育」が18.1%となっています。



○一時預かり事業の利用を希望しない理由

一時預かり事業の利用を希望しない理由は、「子どもの親、祖父母や親戚の人がみている」が46.6%と最も高く、次いで「利用する必要がない(別の機関を利用している)」が34.0%、「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が8.7%となっています。

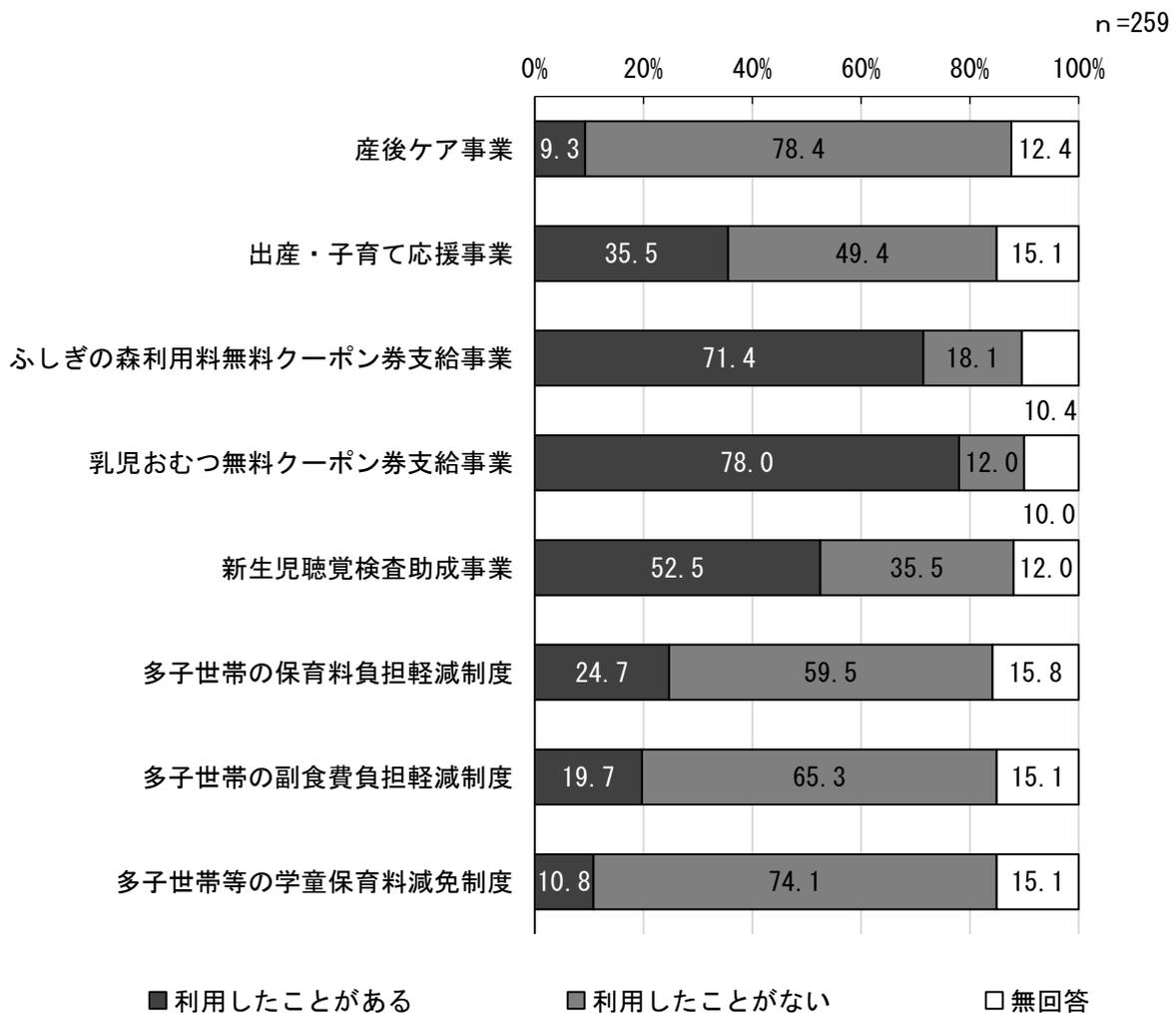


(3) 子育て支援事業の利用状況について

○地域子ども・子育て支援事業の利用状況

地域子ども・子育て支援事業の利用状況は、「利用したことがある」としては、「乳児おむつ無料クーポン券支給事業」が78.0%と最も高く、次いで「ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業」が71.4%、「新生児聴覚検査助成事業」が52.5%となっています。

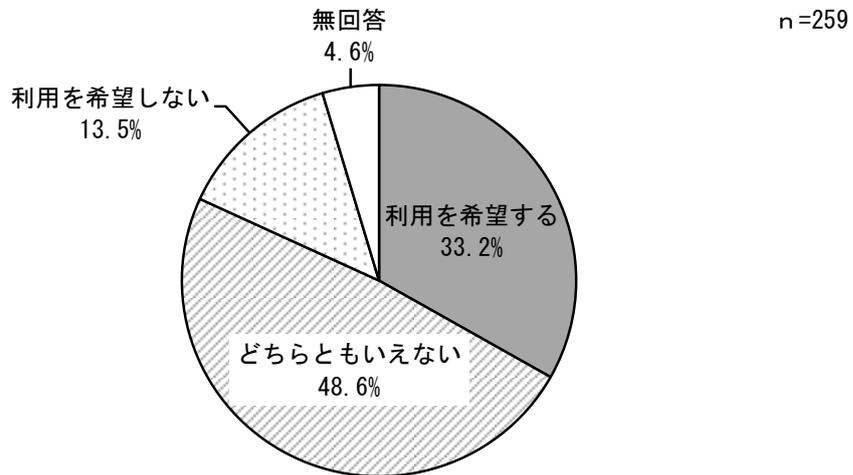
「利用したことがない」としては、「産後ケア事業」が78.4%と最も高く、次いで「多子世帯等の学童保育料減免制度」が74.1%、「多子世帯の副食費負担軽減制度」が65.3%となっています。



(4) 病気の際の対応について

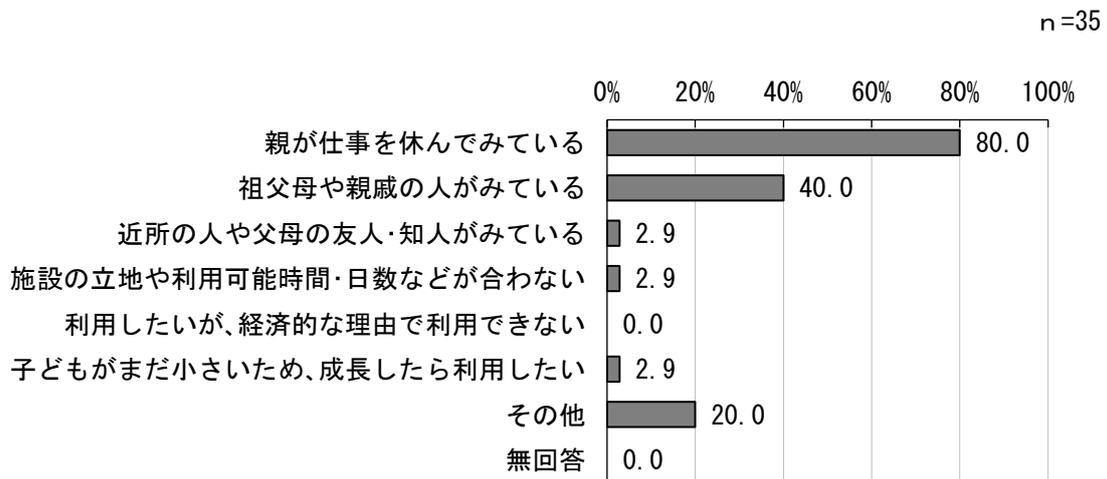
○病児・病後児保育の利用意向

病児・病後児保育の利用意向は、「どちらともいえない」が 48.6%と最も高く、次いで「利用を希望する」が 33.2%、「利用を希望しない」が 13.5%となっています。



○病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んでみている」が 80.0%と最も高く、次いで「祖父母や親戚の人がみている」が 40.0%となっています。

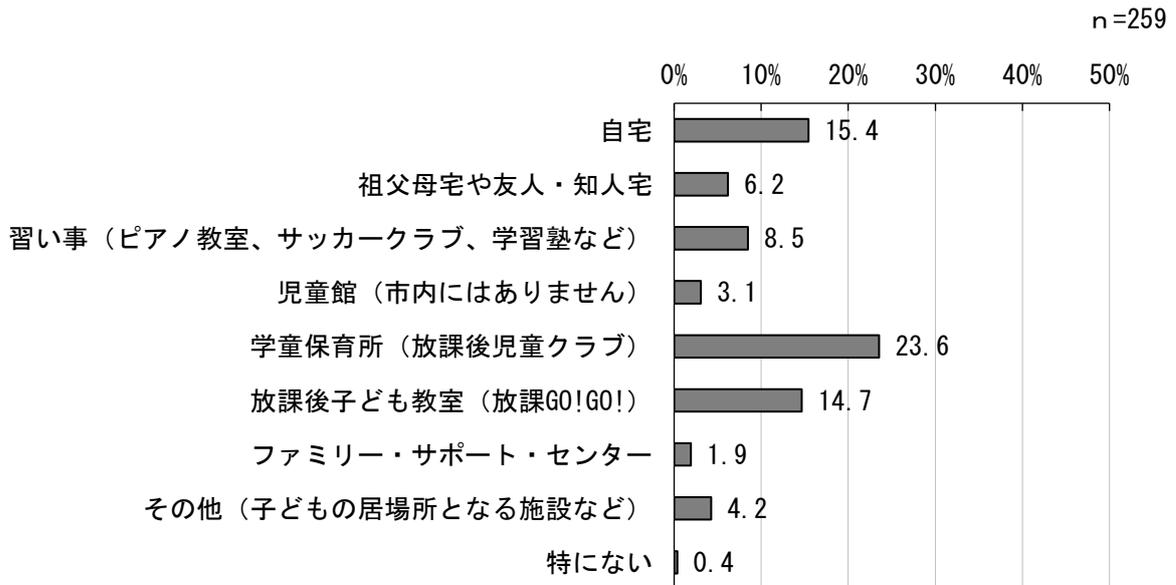


(5) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

○低学年の内、放課後や休日を過ごさせたい場所

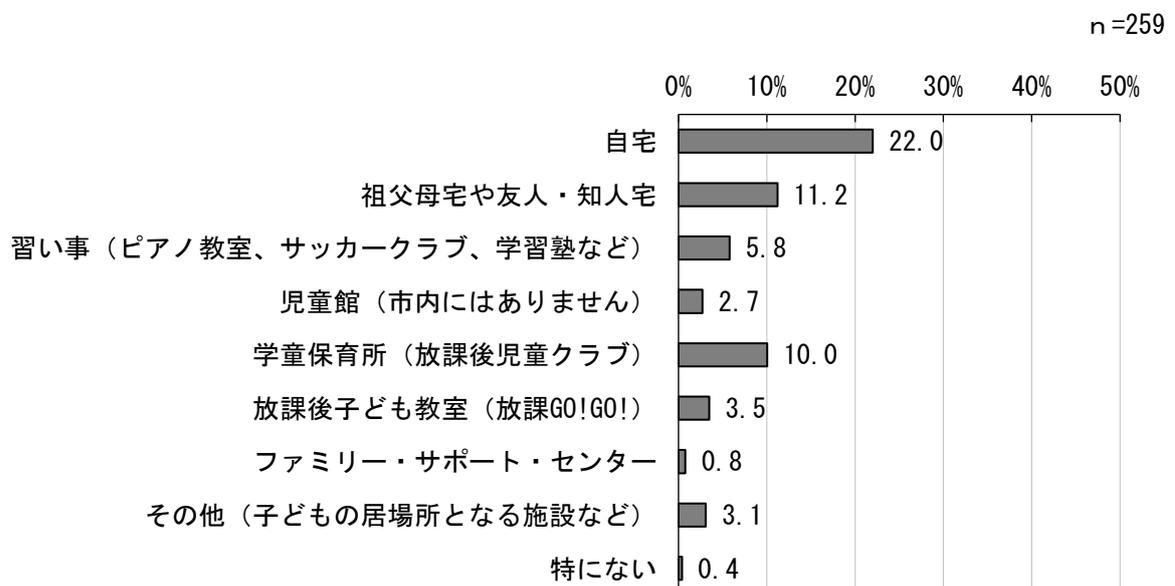
【放課後】

小学校低学年（1～3年生）の内、平日の学校終了後（放課後）に過ごさせたい場所は、「学童保育所（放課後児童クラブ）」が23.6%と最も高く、次いで「自宅」が15.4%、「放課後子ども教室（放課GO!GO!）」が14.7%となっています。



【土曜日】

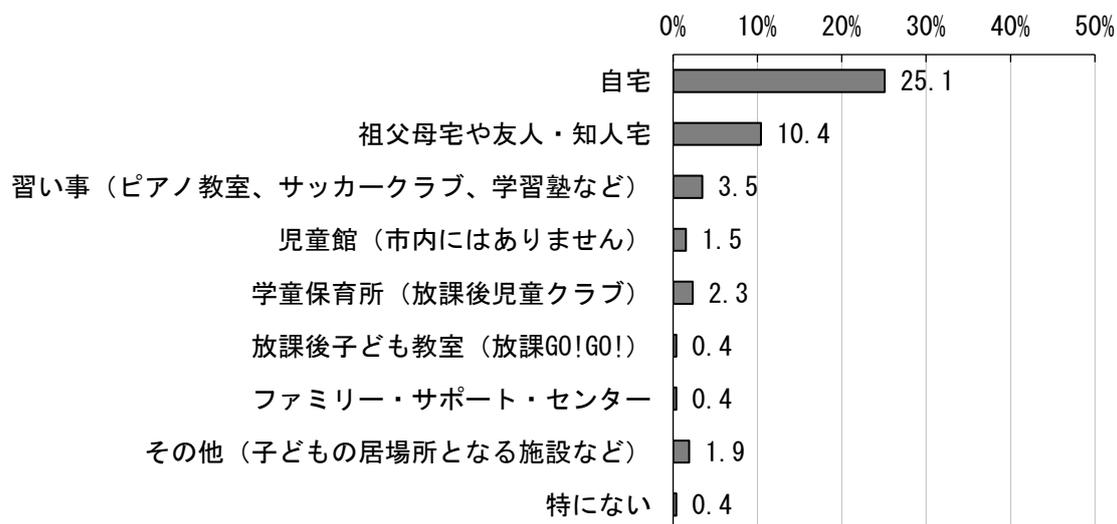
小学校低学年（1～3年生）の内、土曜日に過ごさせたい場所は、「自宅」が22.0%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が11.2%、「学童保育所（放課後児童クラブ）」が10.0%となっています。



【日曜・祝日】

小学校低学年（1～3年生）の内、日曜・祝日に過ごさせたい場所は、「自宅」が25.1%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が10.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が3.5%となっています。

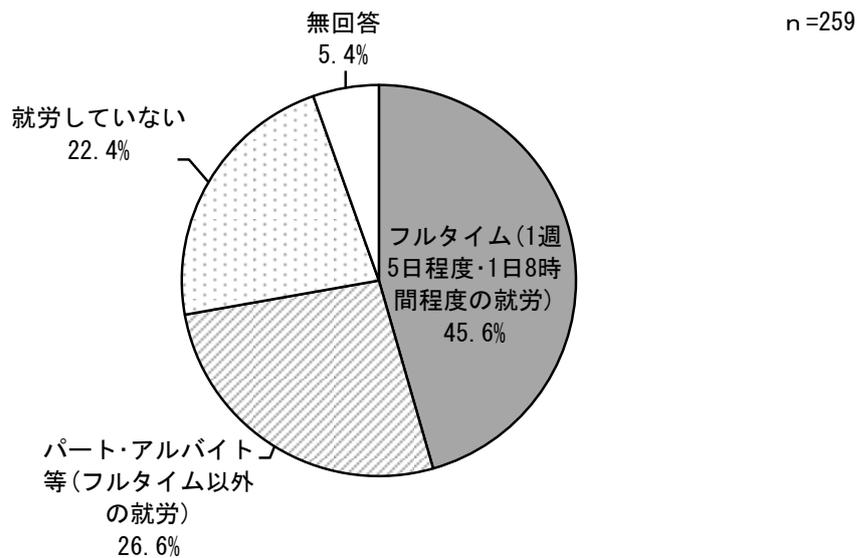
n=259



(6) 保護者の就労状況について

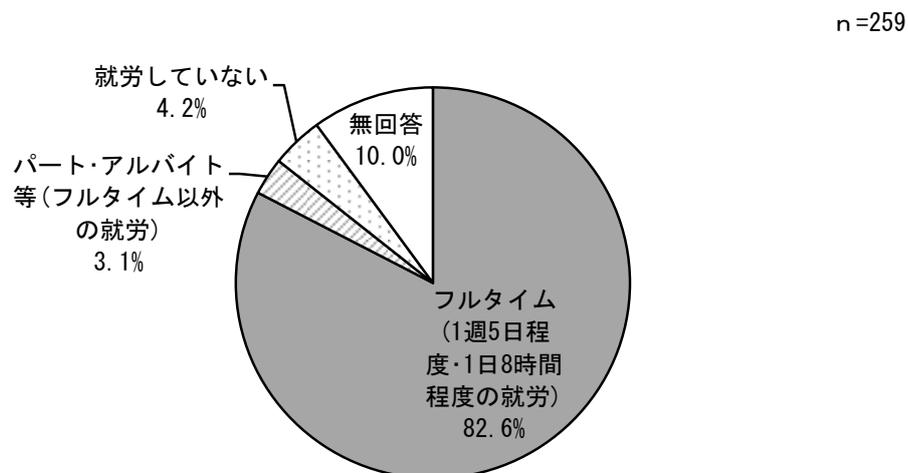
○母親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が45.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が26.6%、「就労していない」が22.4%となっています。



○父親の就労状況

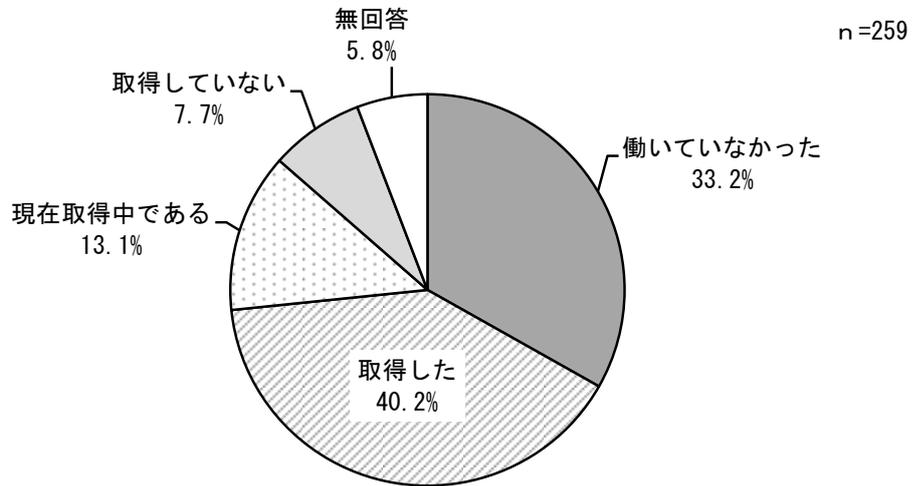
父親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が82.6%と最も高く、次いで「就労していない」が4.2%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が3.1%となっています。



(7) 職場の両立支援について

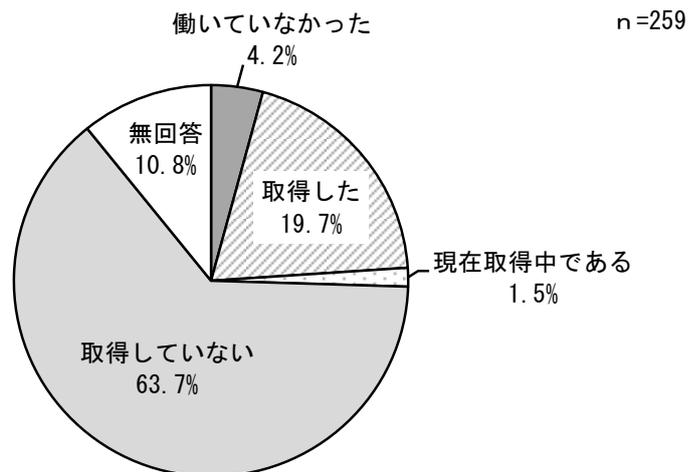
○母親の育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況は、「取得した」が40.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」が33.2%、「現在取得中である」が13.1%となっています。



○父親の育児休業の取得状況

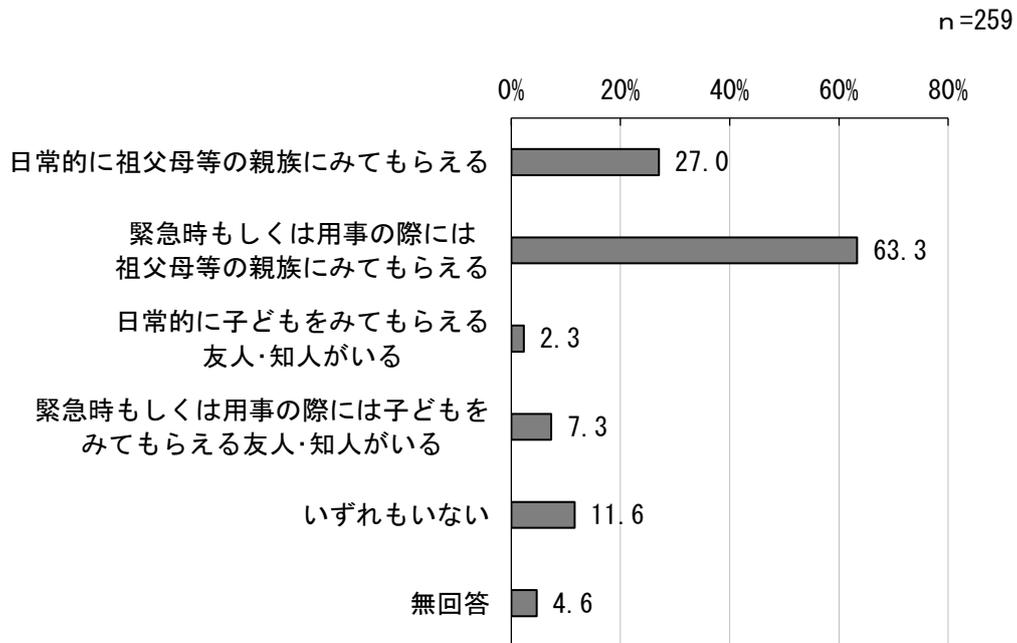
父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が63.7%と最も高く、次いで「取得した」が19.7%、「働いていなかった」が4.2%となっています。



(8) 子どもの育ちを巡る環境について

○お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.0%となっており、「いずれもない」は11.6%となっています。



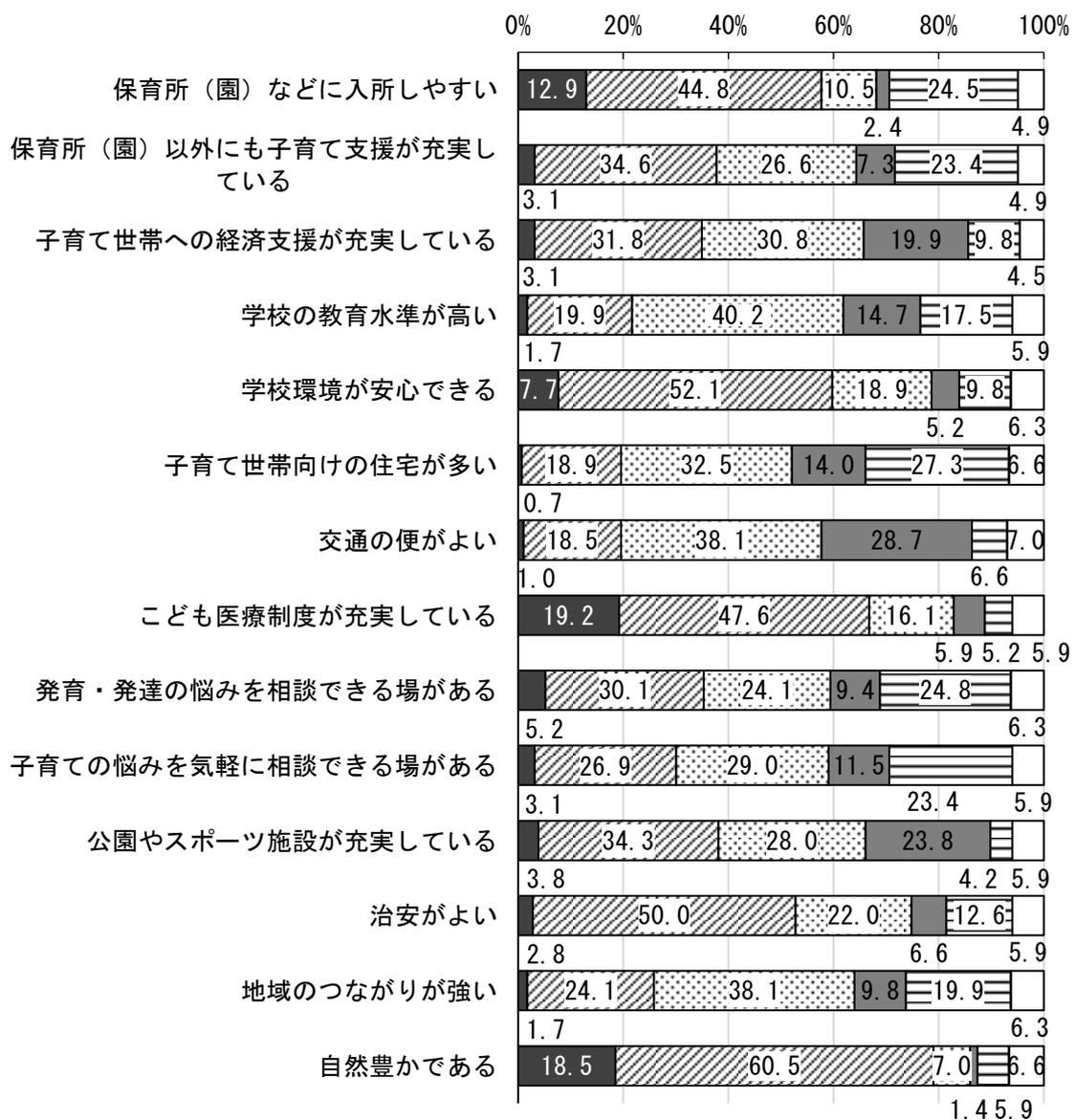
(9) 砂川市の子育て環境や支援について

○子育て環境について

砂川市の子育て環境について感じていることは、「とてもそう思う」と「そう思う」の合計は、「自然豊かである」が79.0%と最も高く、次いで「こども医療制度が充実している」が66.8%、「学校環境が安心できる」が59.8%となっています。

「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は、「交通の便がよい」が66.8%と最も高く、次いで「学校の教育水準が高い」が54.9%、「公園やスポーツ施設が充実している」が51.8%となっています。

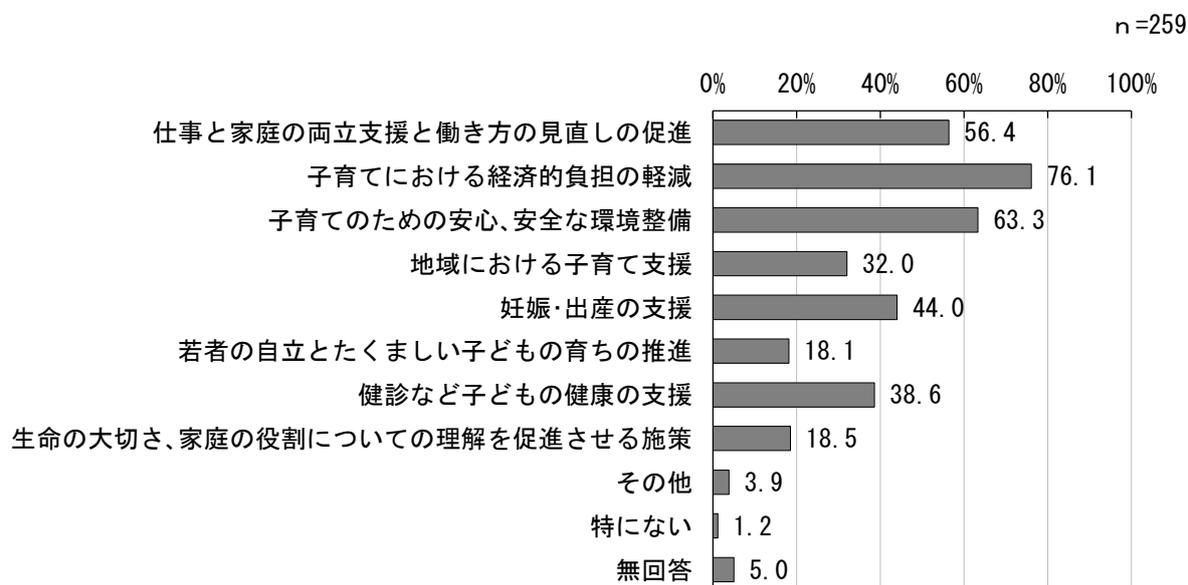
n=286



■とてもそう思う □そう思う □あまりそう思わない □そう思わない □わからない □無回答

○望ましい子育て支援施策

望ましい子育て支援施策は、「子育てにおける経済的負担の軽減」が76.1%と最も高く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が63.3%、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が56.4%となっています。

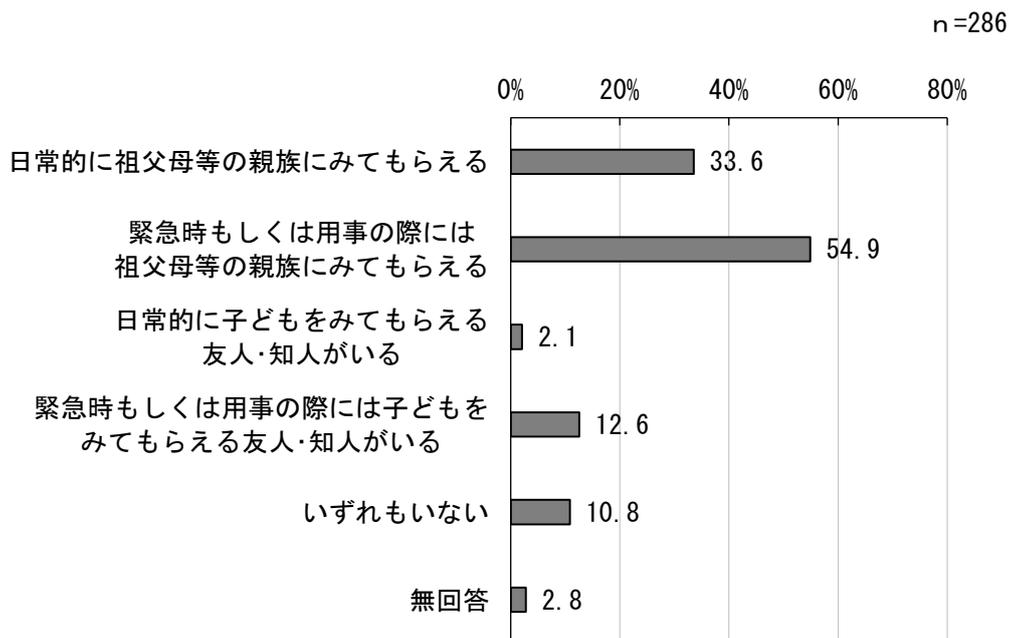


3 調査の結果概要（就学児童）

（1）子どもの育ちを巡る環境について

○お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

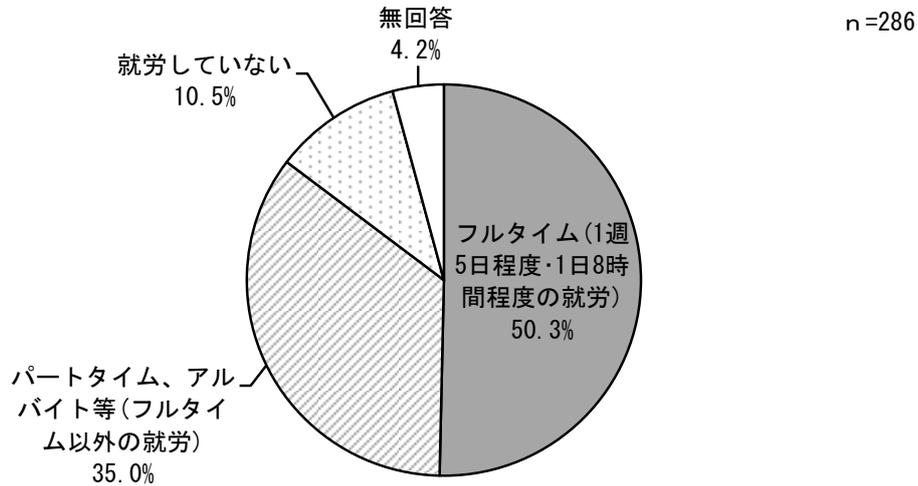
お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が33.6%となっており、「いずれもない」が10.8%となっています。



(2) 保護者の就労状況について

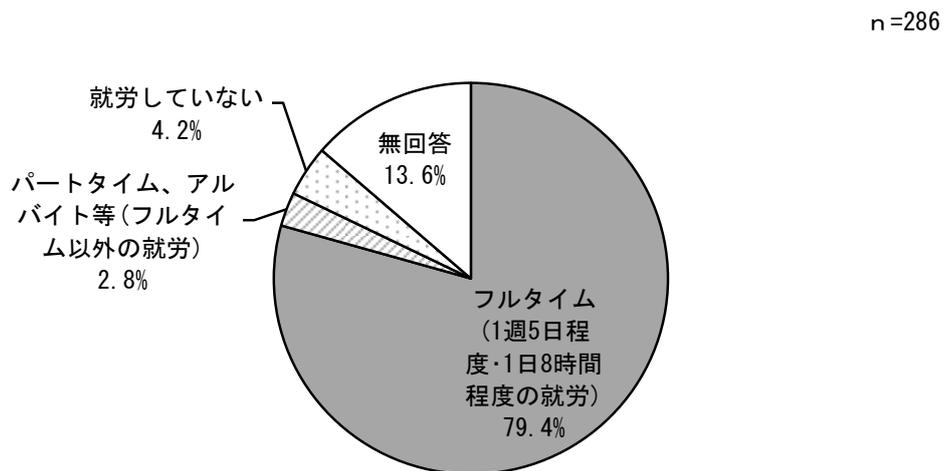
○母親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が50.3%と最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が35.0%、「就労していない」が10.5%となっています。



○父親の就労状況

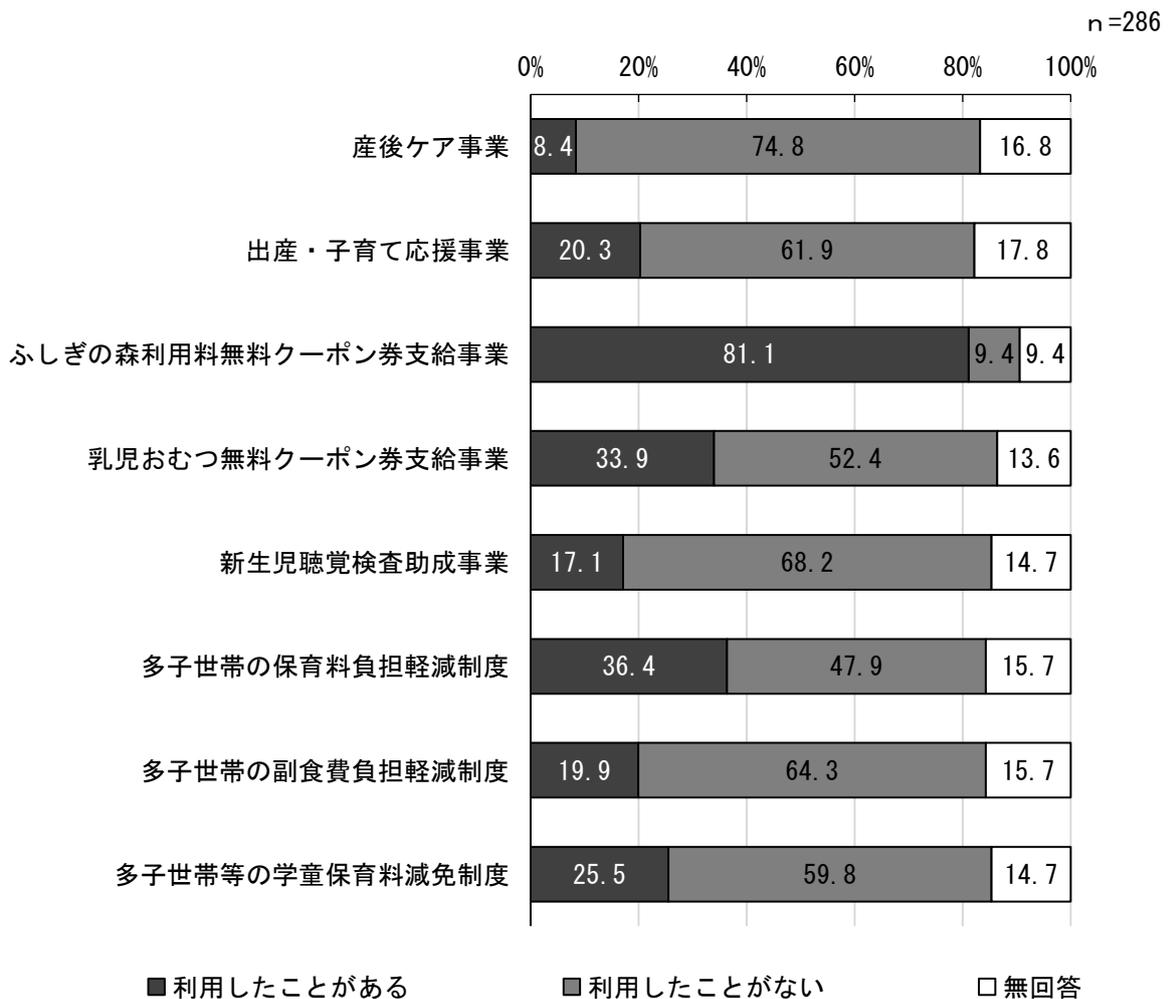
父親の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が79.4%と最も高く、次いで「就労していない」が4.2%、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が2.8%となっています。



(3) 子育て支援事業の利用状況について

地域子ども・子育て支援事業の利用状況は、「利用したことがある」としては、「ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業」が 81.1%と最も高く、次いで「多子世帯の保育料負担軽減制度」が 36.4%、「乳児おむつ無料クーポン券支給事業」が 33.9%となっています。

「利用したことがない」としては、「産後ケア事業」が 74.8%と最も高く、次いで「新生児聴覚検査助成事業」が 68.2%、「多子世帯の副食費負担軽減制度」が 64.3%となっています。

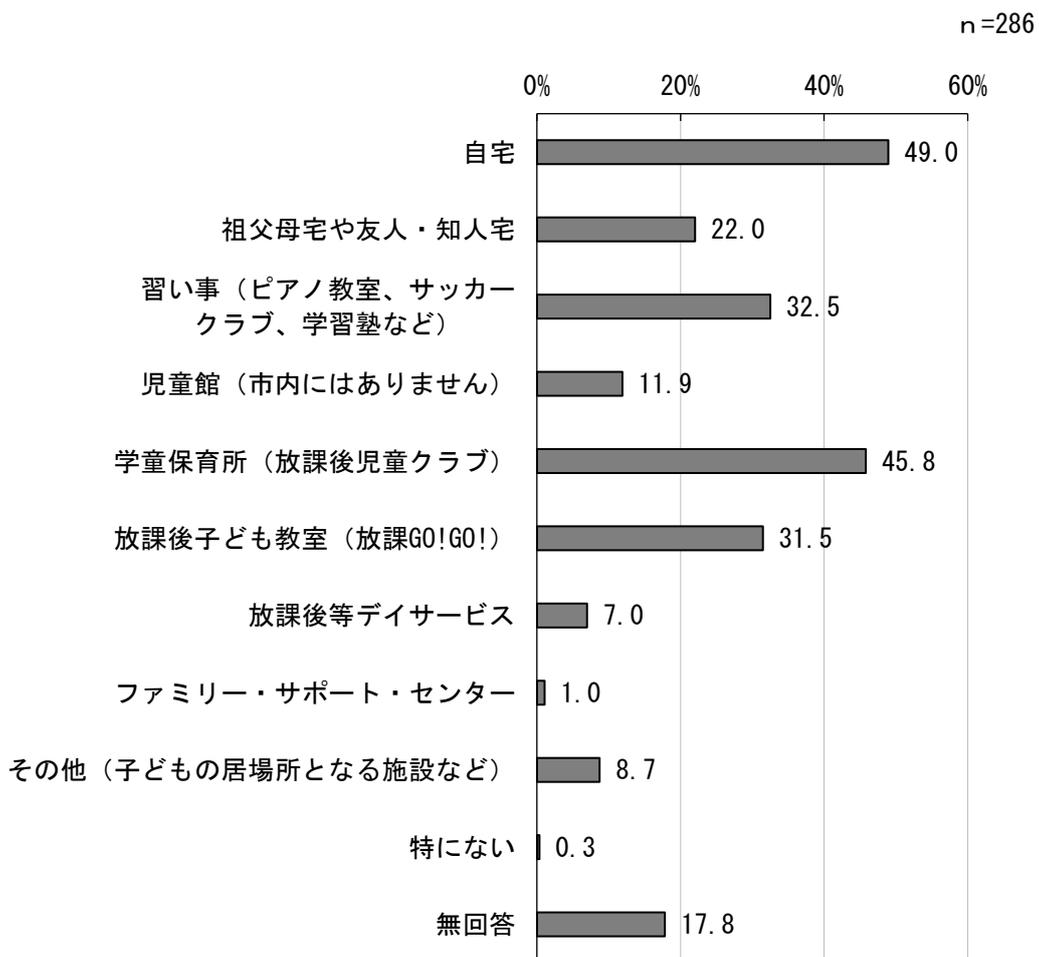


(4) 放課後の過ごし方について

○放課後過ごさせたい場所

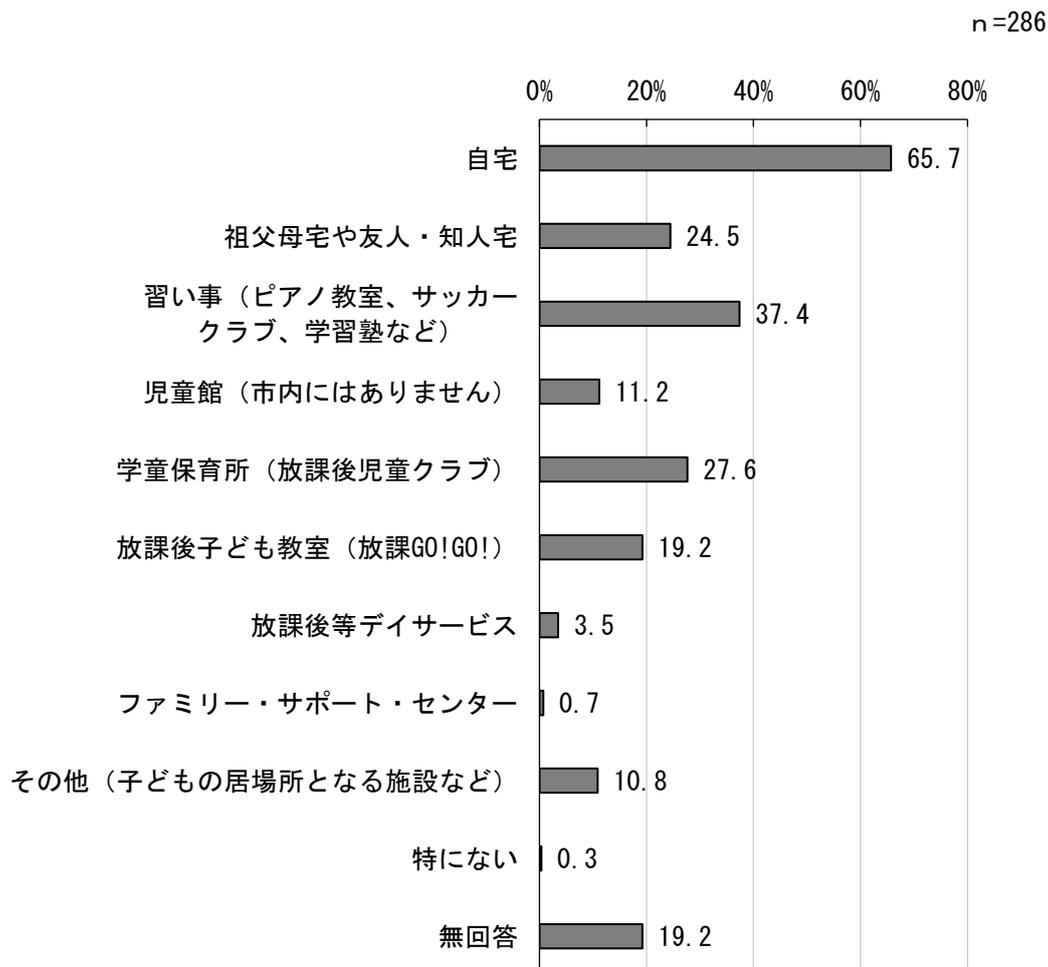
【1～3年生】

1～3年生の内、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が49.0%と最も高く、次いで「学童保育所（放課後児童クラブ）」が45.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が32.5%、「放課後子ども教室（放課GO!GO!）」が31.5%となっています。



【4～6年生】

4～6年生の内、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が65.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が37.4%、「学童保育所（放課後児童クラブ）」が27.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が24.5%となっています。

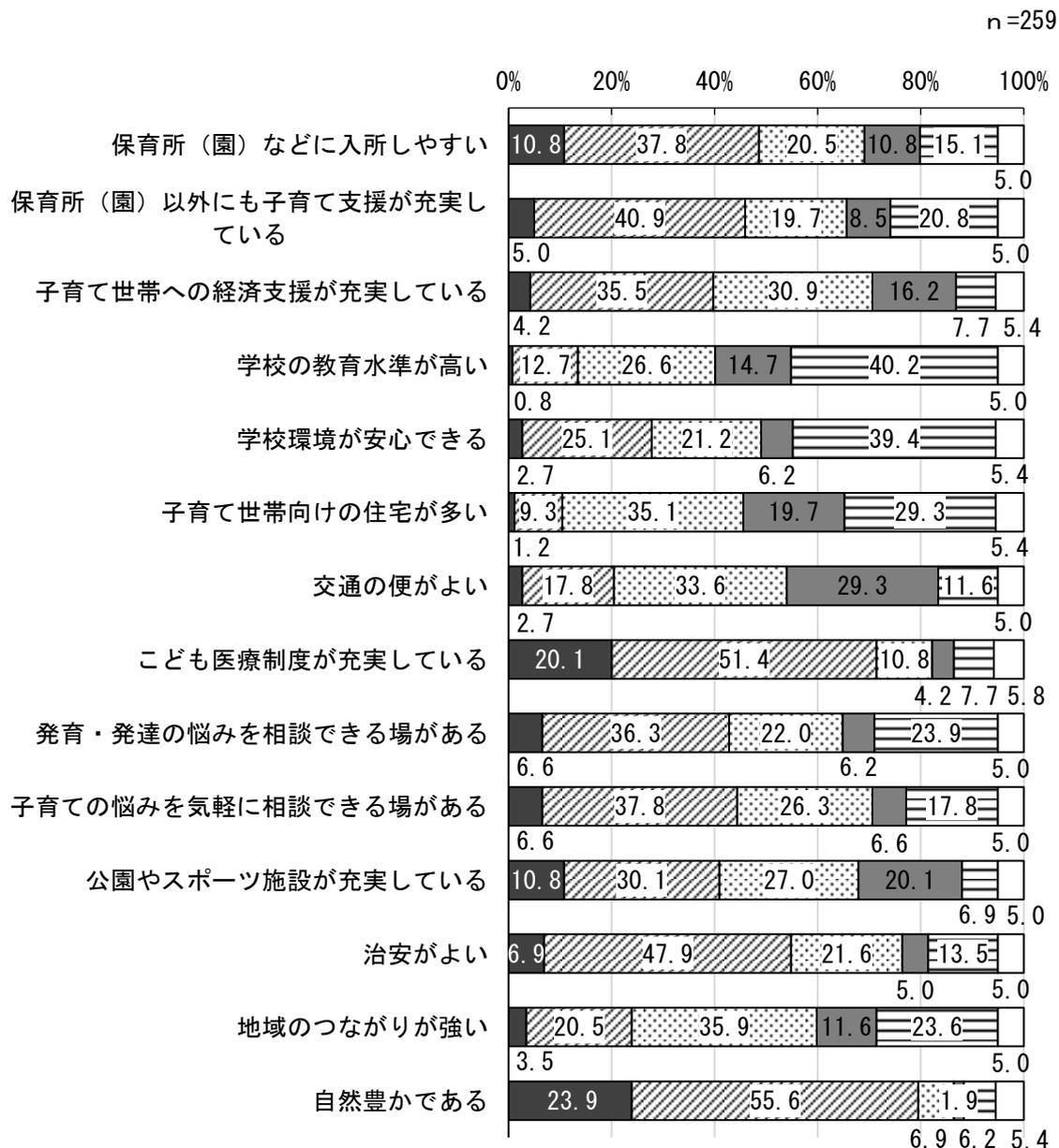


(5) 砂川市の子育て環境や支援について

○子育て環境について

砂川市の子育て環境について感じていることは、「とてもそう思う」と「そう思う」の合計は、「自然豊かである」が79.5%と最も高く、次いで「こども医療制度が充実している」が71.5%、「治安がよい」が54.8%となっています。

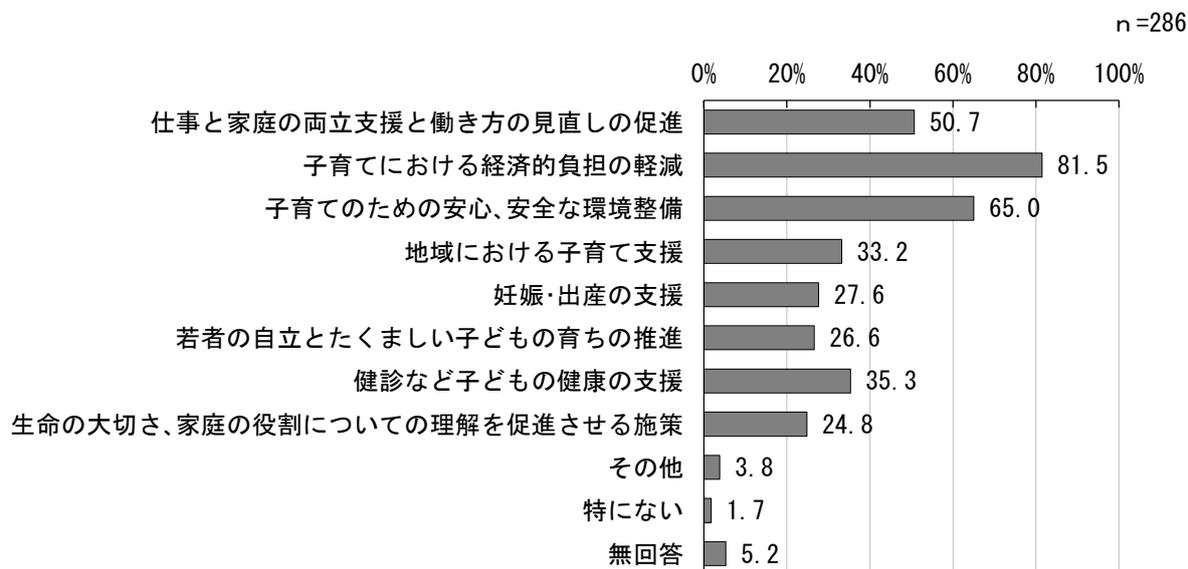
「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は、「交通の便がよい」が62.9%と最も高く、次いで「子育て世帯向けの住宅が多い」が54.8%、「地域のつながりが強い」が47.5%となっています。



■とてもそう思う □そう思う ▨あまりそう思わない ■そう思わない □わからない □無回答

○望ましい子育て支援施策

望ましい子育て支援施策は、「子育てにおける経済的負担の軽減」が81.5%と最も高く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が65.0%、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が50.7%となっています。



4 アンケート結果からみえる傾向

●「定期的な」教育・保育事業

「定期的な」教育・保育事業について、「認可保育所」を利用していると答えた就学前児童保護者は52.9%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」を利用していると答えた方は15.4%でした。「認可保育所」については60.6%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」については37.8%の方が平日の利用を希望しています。「幼稚園の預かり保育」は26.3%、「認定こども園」は18.9%の方が利用を希望しています。また、「認可保育所」において、子どもの長期休暇期間中については18.5%、土曜日については30.9%の方が利用を希望しています。

●「不定期な」教育・保育事業

不定期に利用したい一時預かり事業について、39.8%の就学前児童保護者が「利用を希望しない」と答えていますが、その一方で「一時預かり」については33.6%の方が、「幼稚園の預かり保育」と「ファミリー・サポート・センター」についても一定数の方が今後利用したいと答えています。利用を希望しない理由としては「子どもの親、祖父母や親戚の人がみている」、「利用する必要がない（別の機関を利用している）」と答えた方多くなっています。

●病児とその家族を支える事業

病児・病後児保育等の利用意向について、就学前保護者は「どちらともいえない」が48.6%と最も高く、次いで「利用を希望する」が33.2%、「利用を希望しない」が13.5%となっています。利用を希望しない理由としては、「親が仕事を休んで対応する」が最も高くなっています。

●放課後の過ごし方

放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについて、就学前児童保護者では、平日の低学年の内「学童保育所（放課後児童クラブ）」が最も高く、就学児童保護者では、1～3年生時においては「自宅」、「学童保育所（放課後児童クラブ）」、4～6年生時においては「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が高くなっています。

●子育てと子育て環境

地域子ども・子育て支援事業の利用状況については、就学前児童保護者が「利用したことがある」事業として「乳児おむつ無料クーポン券支給事業」が78%と最も高く、次いで「ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業」が71.4%、「新生児聴覚検査助成事業」が52.5%となっています。「利用したことがない」事業は、「産後ケア事業」が78.4%と最も高く、次いで「多子世帯等の学童保育料減免制度」が74.1%、「多子世帯の副食費負担軽減制度」が65.3%となっています。就学児童保護者が「利用したことがある」事業は「ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業」が81.1%と最も高く、次いで「多子世帯の保育料負担軽減制度」が36.4%、「乳児おむつ無料クーポン券支給事業」が33.9%となっており、「利用したことがない」事業としては、「産後ケア事業」が74.8%と最も高く、次いで「新生児聴覚検査助成事業」が68.2%、「多子世帯の副食費負担軽減制度」が64.3%となっています。

砂川市の子育て環境について感じている事として、「とてもそう思う」と「そう思う」の合計は、就学前児童保護者と就学児童保護者ともに、「自然豊かである(就学前児童79%、就学児童79.5%)」が最も多く、次いで「こども医療制度が充実している(就学前児童66.8%、就学児童71.5%)」となっており、就学前児童保護者の「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は、「交通の便がよい」が66.8%と最も高く、次いで「学校の教育水準が高い」が54.9%、「公園やスポーツ施設が充実している」が51.8%となっています。就学児童保護者の「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は、「交通の便がよい」が62.9%と最も高く、次いで「子育て世帯向けの住宅が多い」が54.8%、「地域のつながりが強い」が47.5%となっています。

望まれている子育て支援施策については、就学前児童保護者と就学児童保護者ともに、「子育てにおける経済的負担の軽減(就学前児童76.1%、就学児童81.5%)」が最も高く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備(就学前児童63.3%、就学児童65%)」、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進(就学前児童56.4%、就学児童50.7%)」となっています。